

支援の目的	検証の考え方	検証項目例	
		直接評価	間接評価
阪堺線の存続	安全運行が図られているか	施設の改修状況	アンケート調査 ・支援策の効果が表れているか ・支援策の認知がされているか ・支援策の仕掛先や施策が適性かなど
	利用者拡大が図られているか	利用者の増加状況	
	収支は改善されているか	阪堺電気軌道（株）の収支	
堺市のまちづくりへの寄与	(観光・文化) 観光・文化の賑わいが図られているか	沿線観光・文化施設の来街者数 堺おもてなしチケット販売枚数	
	(交流) 市外との交流が図られているか	阪堺線2区間利用者数 堺市ビジター数	
	(福祉) 高齢者の外出支援等が図られているか	おでかけ応援カード利用者数	
	(環境) 環境公共交通機関への転換が図られているか	都心での定期外乗降客数（南海）	
	(商業・業務) 商業・業務沿線・都心地域の賑わいが図られているか	沿線での新規出店店舗（業態、話題性） 大小路周辺の通行量（歩行者、自転車） コミュニティサイクル利用者数 沿線人口	
	(その他) 堺市のプロモーション効果など	マスコミ（新聞等）での登場回数	

■支援策実施による停留場の目的別乗降人員の増減数（H23-H22比較）

観光・レジャー目的の乗降人員は、支援策実施前と比較して計195人／日増加しており、通勤・通学、その他利用に次いで多い。なお、調査結果は平日調査の結果であり、休日では違った結果が予想される。

支援策実施による停留場の目的別乗降人員増減数（H23-H22比較） 平日調査

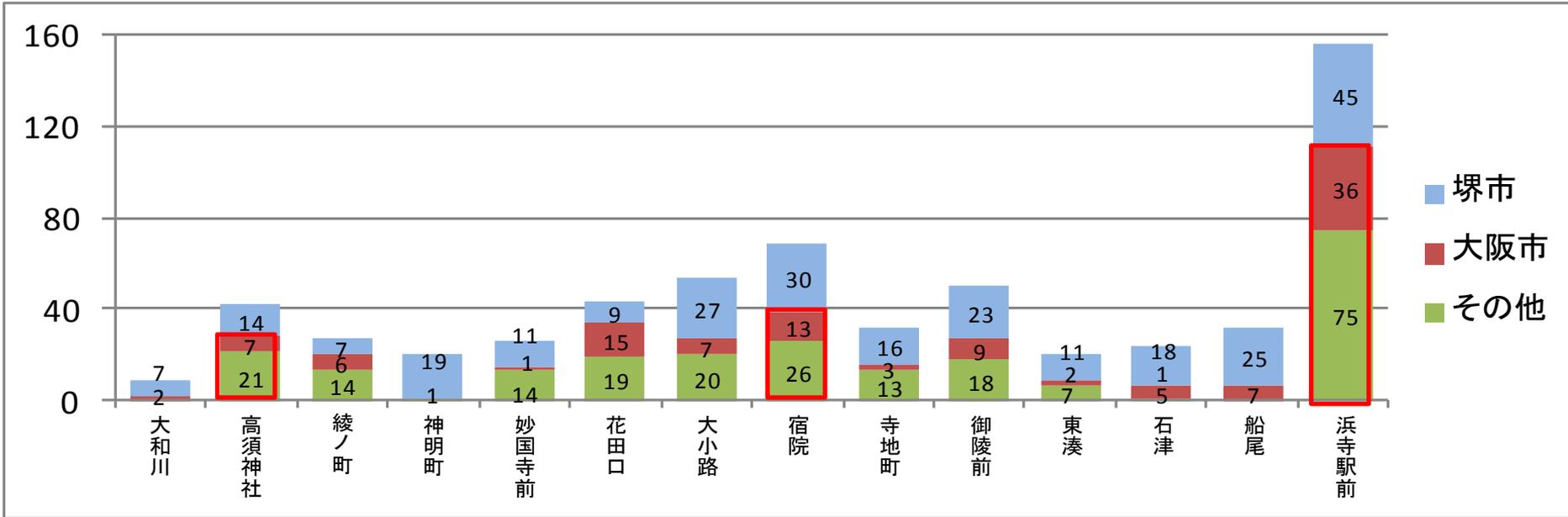
	大和川	高須神社	綾ノ町	神明町	妙国寺前	花田口	大小路	宿院	寺地町	御陵前	東湊	石津	船尾	浜寺駅前	合計
観光・レジャー	4	27	▲3	2	▲2	35	14	35	10	19	4	5	8	37	195
通勤・通学	▲10	▲5	47	33	17	25	25	9	4	31	52	64	19	35	346
ビジネス	▲9	16	13	2	▲7	▲5	0	▲4	6	19	▲13	0	0	10	28
買い物	2	10	4	7	3	0	4	1	▲10	21	▲3	▲2	22	21	80
その他	2	36	56	15	5	9	14	42	▲52	40	14	▲3	▲2	30	206
合計	▲11	84	117	59	16	64	57	83	▲42	130	54	64	47	133	855

調査日： H23.10.12(水)

■観光・レジャー目的の居住地別乗降人員数

観光・レジャー目的の利用者のうち、市外からの利用者が全体の半数以上を占めている。また、市外からの観光・レジャー目的の利用者は、浜寺駅前・宿院・高須神社が多い。

観光・レジャー目的の居住地別乗降人員



	大和川	高須神社	綾ノ町	神明町	妙国寺前	花田口	大小路	宿院	寺地町	御陵前	東湊	石津	船尾	浜寺駅前	合計
堺市	78%	33%	26%	95%	42%	21%	50%	43%	50%	46%	55%	75%	78%	29%	43%
堺市以外	22%	67%	74%	5%	58%	79%	50%	57%	50%	54%	45%	25%	22%	71%	57%

■沿線観光・文化施設の来街者数について

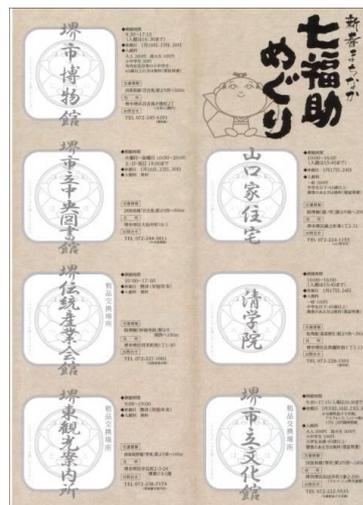
堺市立町家歴史館山口家住宅の入館者数は、公開初年度を除いて、増加していることが分かる。文化財特別公開や七福助めぐりなど周辺の観光・文化施設等と連携したイベントなどに取組んでいる。

堺市立町家歴史館山口家住宅 月別入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
H21年度	-	-	-	-	-	-	1,034	4,655	1,063	1,018	965	1,955	1,780
H22年度	1,061	2,507	1,273	670	443	1,075	1,789	2,918	733	2,194	842	1,842	1,445
H23年度	1,024	2,096	1,336	924	493	1,157	2,393	3,514	788	1,312	852	2,148	1,503
H24年度	950	2,460	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



山口家住宅での福助人形展示



周辺施設と連携した七福助めぐり



文化財特別公開

堺市立町家歴史館清学院の入館者数は、公開開始時からの期間が短いため、利用者の増加状況の把握は難しいが、文化財特別公開や展示などにより集客に取り組んでいる。

堺市立町家歴史館清学院 月別入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
H23年度							10/27 公開開始 652	文化財特別公開 2,013	407	467	350	951	1,503
H24年度	345	文化財特別公開 1,199	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



堺市立町家歴史館 清学院



奥座席

【清学院】

修験道の寺院としての歴史とともに、江戸後期から明治初期には仏典を求めて、日本人で初めてヒマラヤ山脈を越えた河口慧海(かわぐちえかい)も学んだ寺子屋としても知られる国の登録有形文化財。このたび整備がおこなわれ、平成23年10月27日から新たに「堺市立町家歴史館 清学院」としてオープン。



不動堂

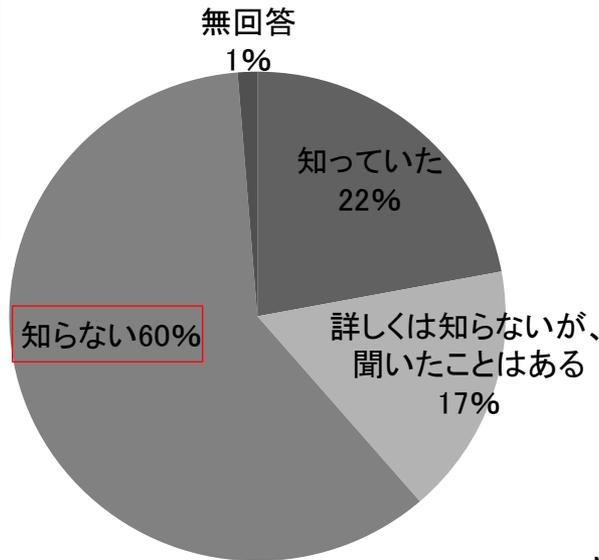
■ 堺おもてなしチケット販売枚数

堺おもてなしチケットの販売枚数は、約430枚／月である。また、アンケート調査の結果、堺おもてなしチケットを知らない人が60%を占めていることから、認知度が低いことが伺える。

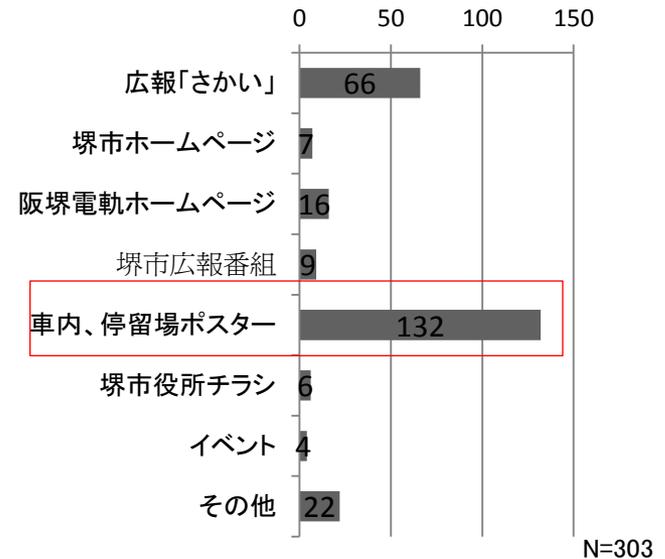
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
H22年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	365	365
H23年度	365	540	565	363	367	414	575	741	506	270	192	313	434
H24年度	321	412	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



Q 堺おもてなしチケットをご存じですか



Q 堺おもてなしチケットは、どこでお知りになりましたか
（“知っていた、詳しくは知らないが聞いたことはある”人が対象）



N=784

N=303

■ 阪堺線の2区間利用者数、大阪市内⇄堺市内間の時間帯別の移動人員

支援策開始後の阪堺線（大阪市内～堺市内）の2区間利用者は、開始前と比較して755人／日増加している。
また、大阪→堺への移動が朝夕のピーク時で約250人（定期外）おり、支援策実施前と比較して、約110人（定期外）増加していることが分かる。

阪堺線の2区間利用者増加数

人／日

券種	G.大阪市内～堺市内 跨り									
	移動人員				H23との比較					
	H17	H21	H22	★H23	対H17		対H21		対H22	
					増減率	増減	増減率	増減	増減率	増減
現金	761	655	676	1,081	42.0	320	65.0	426	59.9	405
回数券	400	412	414	855	113.8	455	107.5	443	106.5	441
通勤定	454	571	538	435	▲ 4.2	▲ 19	▲ 23.8	▲ 136	▲ 19.1	▲ 103
通学定	158	173	237	253	60.1	95	46.2	80	6.8	16
その他	53	55	63	59	11.3	6	7.3	4	▲ 6.3	▲ 4
計	1,826	1,866	1,928	2,683	46.9	857	43.8	817	39.2	755

調査日：H23.10.12(水)

大阪市内⇄堺市内の2区間移動人員（平成23年）

H23	大阪→堺			堺→大阪			合計
	定期	定期外	計	定期	定期外	計	
5～7	109	253	362	224	343	567	929
8～10			約40%			約60%	
11～13	97	411	508	38	412	450	958
14～16							
17～19	141	329	470	79	247	326	796
20～23			約60%			約40%	
計	347	993	1,340	341	1,002	1,343	2,683

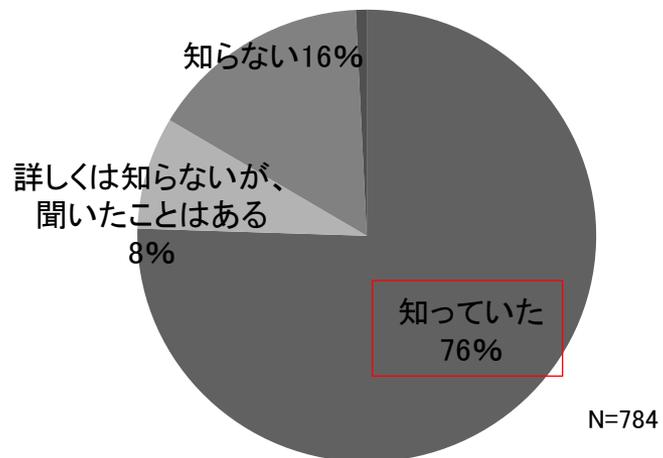
大阪市内⇄堺市内の2区間移動人員の増減（平成21年との比較）

H23-H21	定期			定期外			合計
	大阪→堺	堺→大阪	計	大阪→堺	堺→大阪	計	
5～7	▲ 17	▲ 12	▲ 29	112	161	273	244
8～10							
11～13	29	▲ 3	26	184	155	339	365
14～16							
17～19	▲ 29	▲ 24	▲ 53	152	109	261	208
20～23							
計	▲ 17	▲ 39	▲ 56	448	425	873	817

調査日：H23.10.12(水)

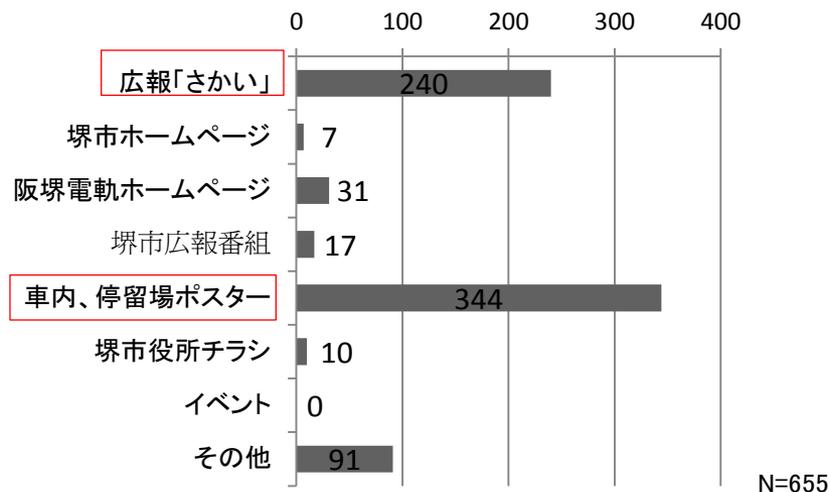
■ 2区間運賃均一化、天王寺直通運転の認知度

Q 2区間運賃均一化はご存知ですか

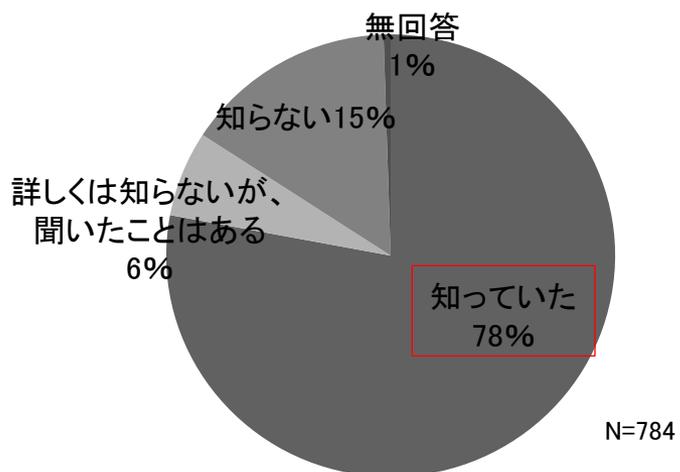


Q 2区間運賃均一化は、どこでお知りになりましたか

（“知っていた、詳しくは知らないが聞いたことはある”人が対象、複数回答含む）

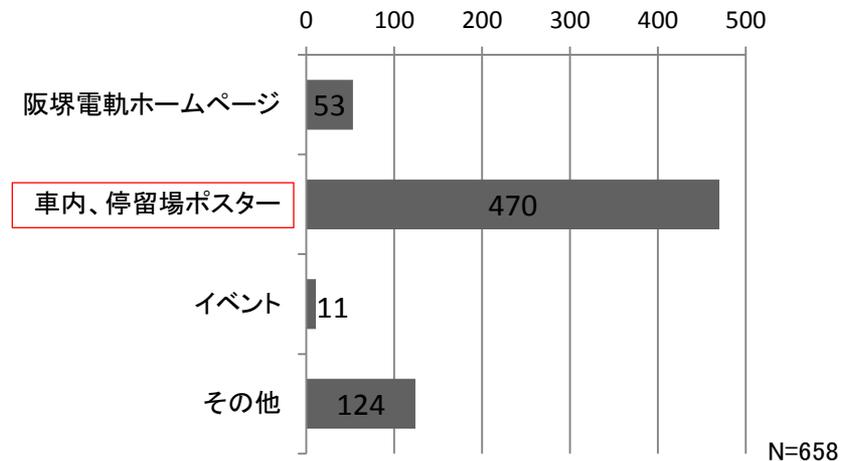


Q 天王寺直通運転はご存知ですか



Q 天王寺直通運転は、どこでお知りになりましたか

（“知っていた、詳しくは知らないが聞いたことはある”人が対象）



■おでかけ応援カード利用者数

日付	平日 利用者数（人／日）	休日 利用者数（人／日）
6月15日（水）	632	
10月10日（月）		962
10月15日（土）		878
10月20日（木）	1,084	
10月25日（火）	910	
平均	<u>875</u>	<u>920</u>



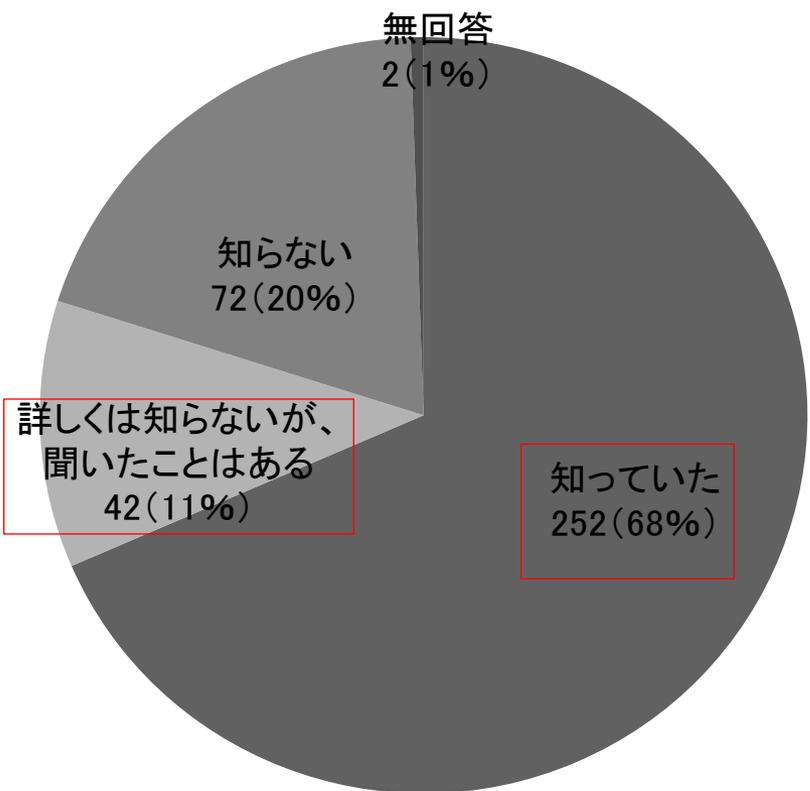
※高齢者運賃割引は、各月の5・10・15・20・25・30日に実施

- ・ 五十日以外の65歳以上利用者数 518人／日
（堺市民・定期外、平成23年10月OD調査）
- ・ 五十日の65歳以上利用者増加数 平日 875 - 518 = 357人／日 休日 920 - 518 = 402人／日
- ・ 年間の65歳以上利用者増加数 （年換算）(357人／日×49日+402人／日×22日)÷365日=72人／日
※49日は年間五十日（平日）、22日は年間五十日（休日）

■ 高齢者運賃割引の認知度

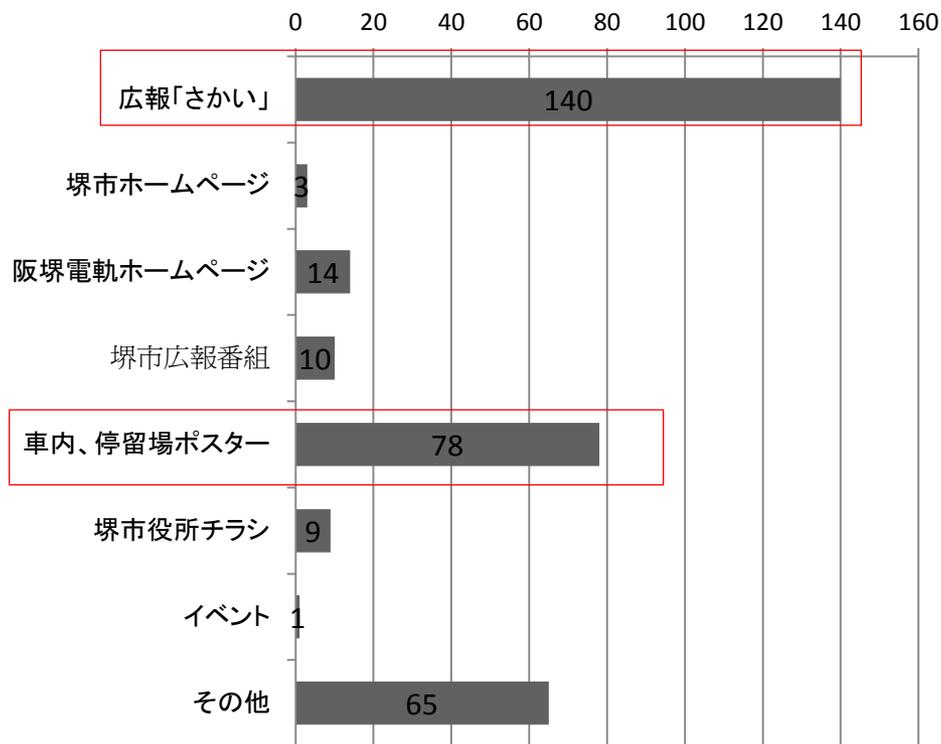
アンケート調査の結果、高齢者運賃割引については、約80%が知っている、もしくは聞いたことはあると回答している。

Q 高齢者運賃割引制度をご存じですか
（60歳以上を対象に）



N=368

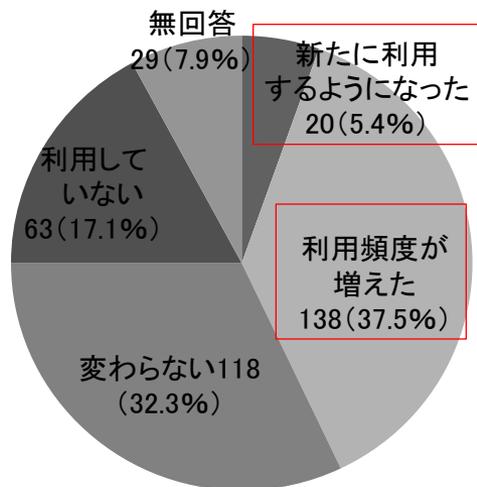
Q 高齢者運賃割引制度は、どこでお知りになりましたか
（“知っていた、詳しくは知らないが聞いたことはある”人を対象に）



N=294（複数回答）

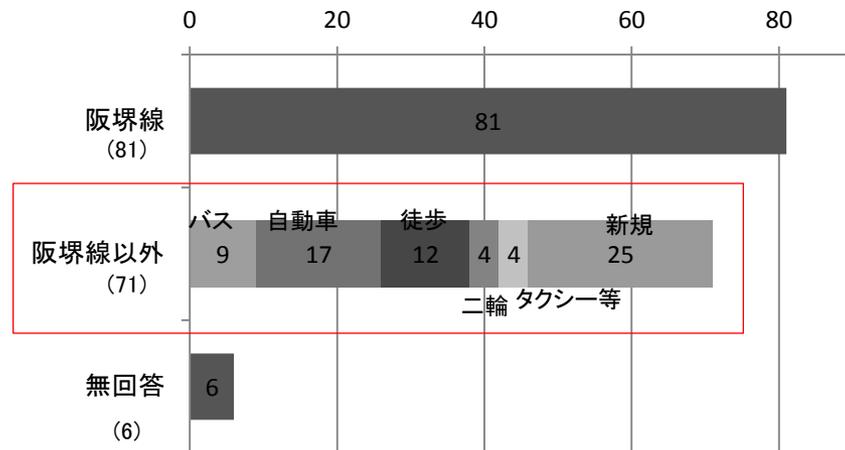
■ 高齢者の阪堺線の利用頻度・目的の変化について

Q 支援策後に阪堺線の利用頻度に変化はありましたか
（60歳以上を対象に）



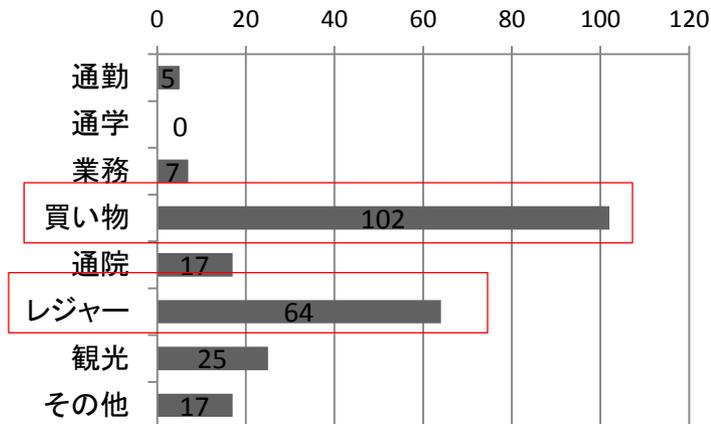
N=368

Q 目的地に行く以前の交通手段は何ですか
（新たに利用、利用頻度が増加した60歳以上を対象に）



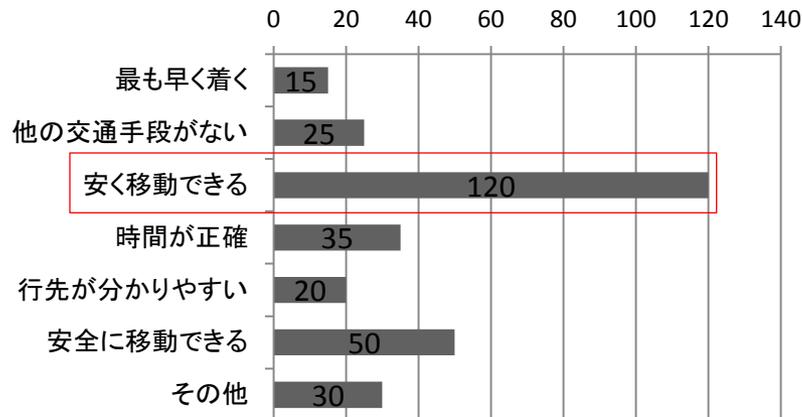
N=158

Q 支援策後に増加した利用目的は何ですか
（新たに利用、利用頻度が増加した60歳以上を対象に）



N=158(複数回答)

Q 阪堺線を利用している理由は
（新たに利用、利用頻度が増加した60歳以上を対象に）

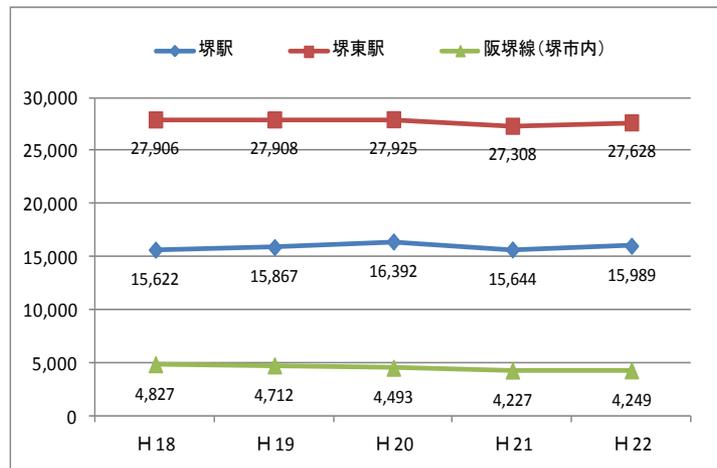


N=158(複数回答)

■ 都心での定期外の乗降客数等

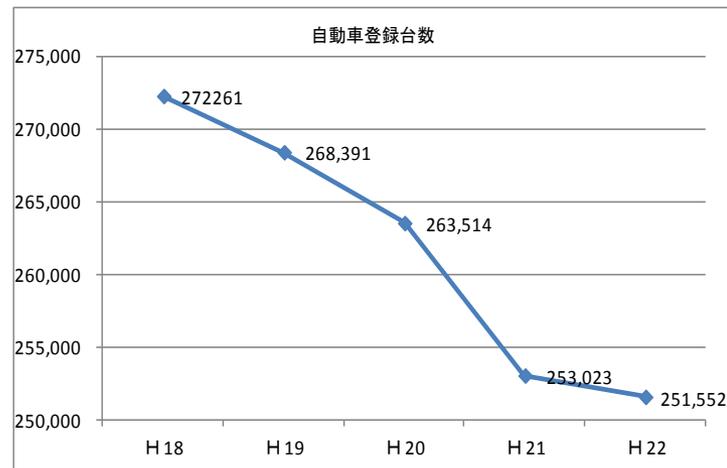
各駅等での乗降客数は平成22年度は微増であるが、一方で自動車登録台数は減少傾向にある。
また、アンケート調査の結果、支援策によりバス・自動車利用から阪堺線利用へ転換した人がいることが分かる。

1日当たりの定期外の乗降人員



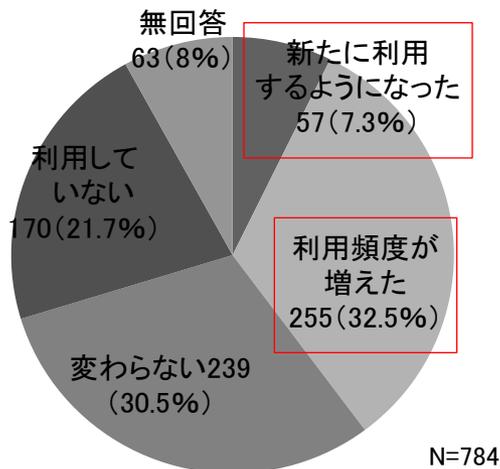
出展：堺市統計書

堺市自動車登録台数



出展：堺市統計書

Q 支援策後に阪堺線の利用頻度に変化はありましたか



Q 目的地に行く以前の交通手段
（“新たに利用、利用頻度が増加した”人を対象に）

